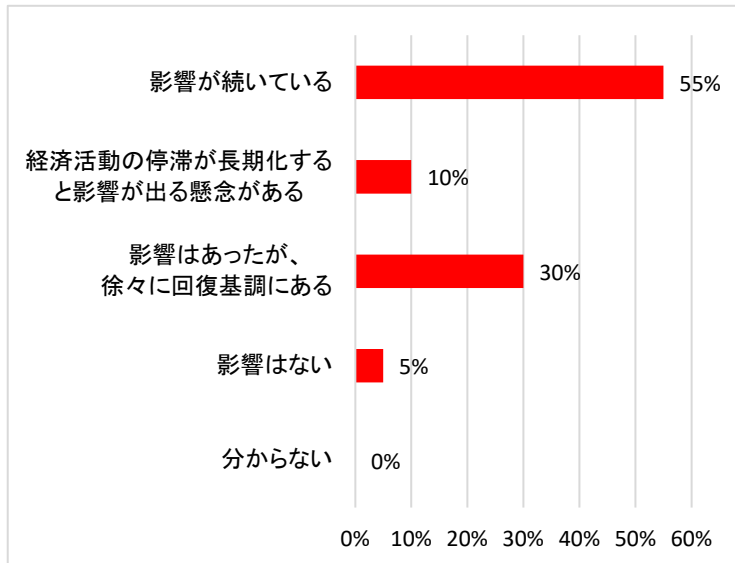


【 2020年7月実施 新型コロナウイルスの影響に関するアンケート集計結果 】

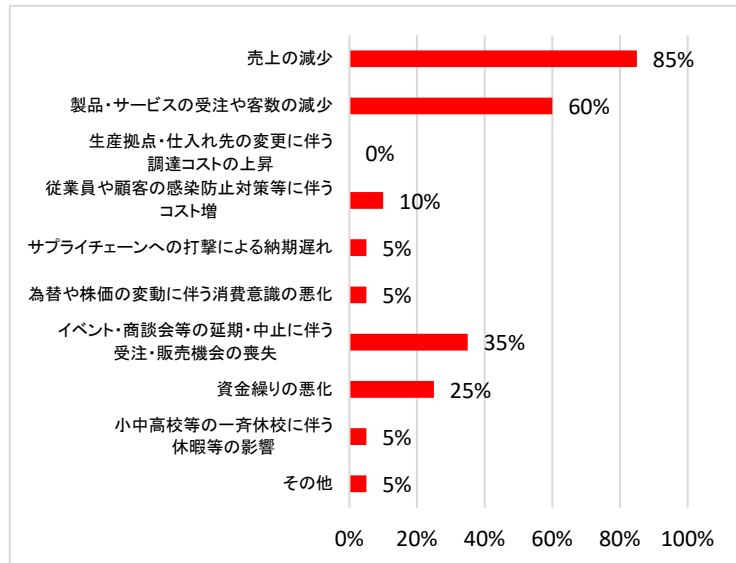
◆◆ 卸・小売業 ◆◆

新型コロナウイルスによる経営への影響はありますか？



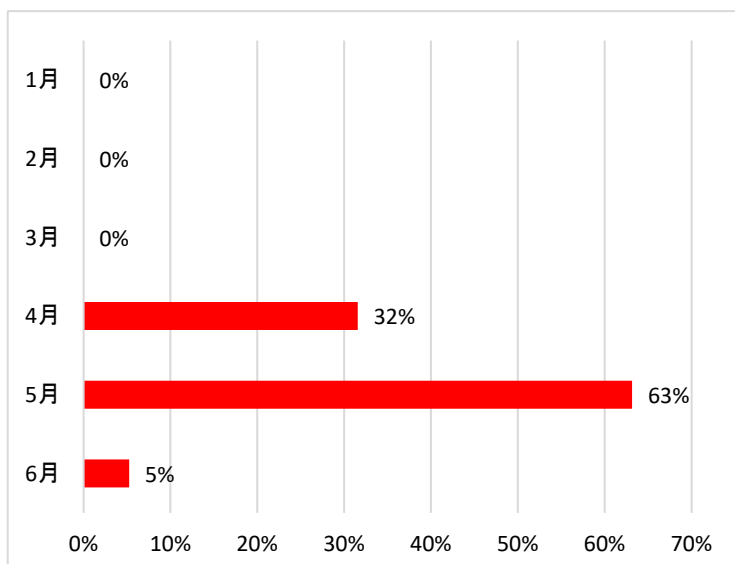
「影響が続いている」が55%一番多く回答しており、続いて「影響はあったが、徐々に回復基調にある」が30%となっている。

具体的にどのような影響を受けましたか？



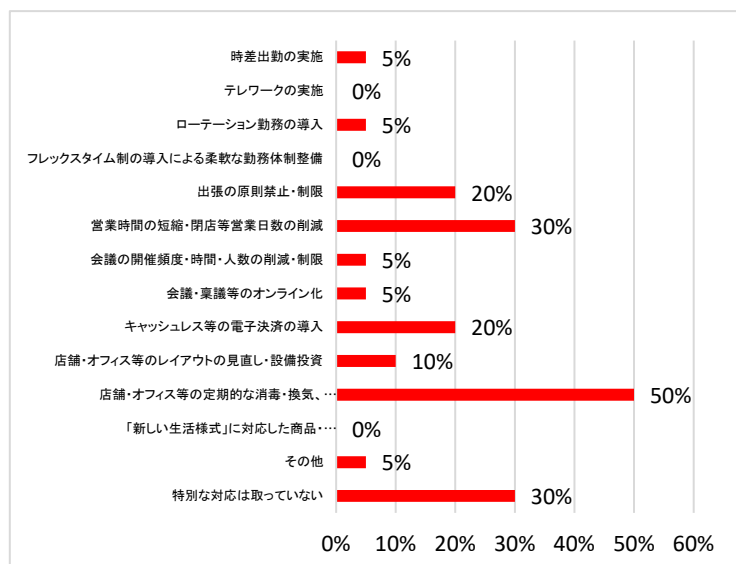
「売上の減少」が85%と一番多く回答しており、続いて「製品・サービスの受注や客数の減少」が60%、「イベント・商談会等の延期・中止に伴う受注・販売機会の喪失」が35%となっている。

一番影響を受けた月は何月ですか？



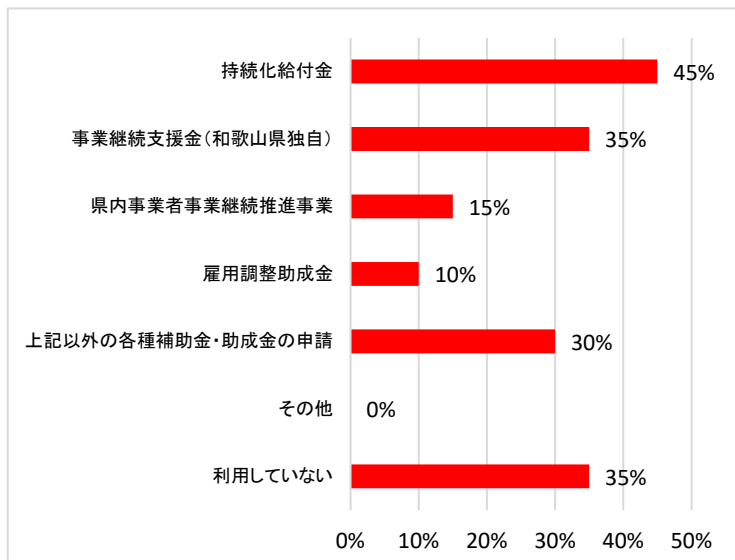
「4月」が32%、「5月」が63%とほとんどの事業所が4・5月に一番影響を受けている。

感染を防ぐために貴社で行った対策はありますか？



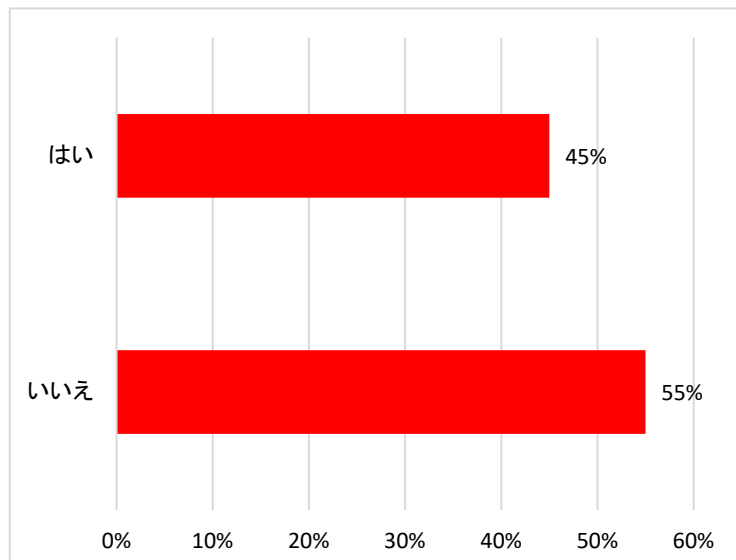
「店舗・オフィス等の定期的な消毒・換気、従業員・顧客の検温、手洗い、手指等の消毒徹底」が50%と一番多く回答している、一方で「特別な対応は取っていない」が30%となっている。

新型コロナウイルスに係る支援策を利用されましたか？



「持続化給付金」が45%、「事業継続支援金(和歌山県独自)」が35%といった利用状況となっている。

新型コロナウイルスに係る融資制度(「日本政策金融公庫による新型コロナウイルス感染症特別貸付」や「セーフティネット貸付・保証」など)を利用されましたか？



新型コロナウイルスに係る融資制度については45%の事業所が利用している。